



広報

かなぎ

良いお年を
お迎えください
金木町

編集と発行：金木町企画室 青森県北津軽郡金木町大字金木字朝日山323 電話☎2111 内線240

用意周到



1992
12

No.320

嘉瀬バイパス防雪柵

脱スパイクタイヤの時代

さようなら スパイクタイヤ こんにちは スタッドレスタイヤ

「スパイクタイヤ粉じん発生の防止に関する法律」が制定され、昨年4月からスパイクタイヤの使用禁止、更に今年の4月から違反者に対して10万円以下の罰金が課せられることになりました。
冬本番を迎え「脱スパイクタイヤ」について特集しました。



粉じんが環境汚染

スパイクタイヤはタイヤに硬い金属のピンを埋め込んだもので、このピンが道路に食い込み、雪道や凍結した道路での制動性を高め、長年ドラ

イバーに親しまれ、活躍してきました。

しかし、雪が無い所で使用するとアスファルトを削り、粉じんを巻き上げ、大気が汚染されたり人体に悪影響を与えたりします。

あなたの車は はき替えましたか

罰金は十万円以下



こうした背景により、粉じんから国民の健康を保護するとともに、生活環境を保全するために、平成2年6月に「スパイクタイヤ粉じん発生の防止に関する法律」が制定され、昨年4月から環境庁長官が指定する地域（県内は46市町村）でスパイクタイヤの使用が禁止されました。さらに今年の4月からは、その違反者に対し、罰則が適用されることになりました。罰金は10万円以下ですが、交通違反と違い刑罰として処理されるので重く受け止める必要があります。

これからはスタッドレス

さて、スパイクタイヤに取って代わるタイヤが、スタッ

ドレスタイヤです。これは、タイヤの表面に特殊な溝が刻まれています。さらに、特殊配合ゴムの特性によって、接地面積を増大させ、摩擦力を大きくして制動性を高めるものです。これまでにたびたび改良を重ねられ、現在ではその性能も、スパイクタイヤと比較してそんなに差がなくなってきました。

例えば、乗用車制動性能を比較（時速40kmでのロックブレーキ）してみると、雪道での実験ではスタッドレスタイヤが20・9mで静止するのに対して、スパイクタイヤでは21・3mで静止します。またスケートリンク状の氷上での実験では、スタッドレスタイヤが55・4m、スパイクタイヤが49・7mで静止します。

このことから、両タイヤの性能の差はそれほどなく、急ブレーキ、急発進等をしない安全運転を心がければ、スタッドレスタイヤは雪上でも氷上でも、十分安全なタイヤであることが分かります。スタッドレス時代突入により、道路整備、除排雪の徹底

凍結防止剤の散布等、行政側もこれまで以上、安全な道路確保に努めています。肝心のドライバー自身による安全運転の心がけです。

「ムーン」がポイント「スタッドレス」

発進時のワンポイント

●発進時は、ゆっくり・慎重に

スタートは、タイヤの路面把握力を十分に発揮させるため、アクセルの踏み込みはゆっくり行うのがコツです。踏み込みすぎは、空転のもととなります。

●AT車はクリープ現象でスムーズな発進

AT車は、クリープ現象（Dレンジにシフトすればブレーキから足を放すだけで動き出す現象）を利用して、ゆっくりアクセルを踏んでいきましよう。

●MT車は滑らかなクラッチ操作で発進

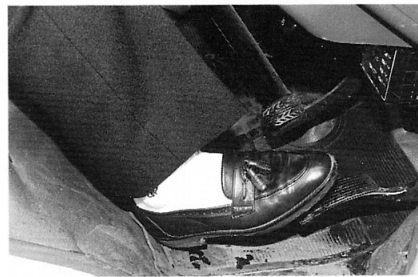
MT車は半クラッチをうまく活用し、アクセル操作のコツを覚えましょう。

ある程度の加速がつくまで

スタッドレスタイヤ装着車の運転ポイントをしっかりと覚え、安全運転の心がけて下さい。

は、あまりアクセルを踏まなことがポイントです。

アクセルはゆっくり



走行中のワンポイント

●走行中は、加・減速を穏やかに

急加速・急ブレーキは、車の尻振り・スピンにつながります。加・減速は穏やかに行い、急旋回は避けましょう。

●カーブの手前では必ず減速
カーブでブレーキを踏むと尻振りやスピンを招きます。

カーブに入る前に十分減速し、控えめなスピードを一定に保って進入しましょう。

●下り坂ではエンジンブレーキを活用
下り坂での急ブレーキや急激なシフトダウンはスリップを招きます。下りに差し加か

●上り坂は気長に
上り坂でのアクセルの踏み込み過ぎは尻振りや空回りの原因になります。坂の手前で

●制動時の車輪ロックは禁物
ブレーキを踏み込み過ぎて車輪の回転を止めると、タイヤの路面把握力が失われ、車

●「車輪ロック」したら
車輪がロックすると、タイヤの路面把握力が失われ、制動距離が伸びるだけでなく、ハンドル操作も不能になります。車輪がロックしたら直ちにブレーキをゆるめましょう。

ブレーキはソフトに



トラブル発生時のワンポイント

「車輪ロック」したら

●「車輪ロック」したら
車輪がロックすると、タイヤの路面把握力が失われ、制動距離が伸びるだけでなく、ハンドル操作も不能になります。車輪がロックしたら直ちにブレーキをゆるめましょう。

●「尻振りスリップ」したら
走行中に尻振りスリップしたら、アクセルを戻し、ブレーキを踏まないことがコツです。

同時操作は禁物

●同時操作は禁物
車輪がロックしている状態では、ハンドル操作をしても進路を変えることはできません。急ハンドル操作に急ブレーキ操作をすると尻振りやスピンにつながります。ハンドルを切りながら急加速することもスピンを招く原因となります。

●冬道でのハンドルとブレーキ・アクセルの同時操作は危険です。絶対やめましょう。これからの冬道の主役は「スタッドレスタイヤ」です。いくら性能が向上したとはいえ、夏場の制動を求められません。

●最近特に4WD車の事故が多くなっています。発進時は威力を発揮しますが、制動時は他の車と何ら変わらないのです。過信・油断することなく、ゆとりを持って安全運転の心がけて下さい。

津島義雄さんが故郷に

リフト付自動車寄贈

このほど金木町出身で、現在東京都世田谷区に在住の津島義雄さんが地域福祉のために福祉車両（車イスのまま乗れるリフト付き自動車）一台を寄贈されました。

津島氏は昭和26年金木中学校を卒業後上京し、数々の事業をなされ、現在、従業員46

名の有限会社二葉電設工業の社長として活躍されています。寄贈に際し「福祉のために役立てて下さい。これを機に東京在住の金木町出身者と、ふるさとの橋渡しとなれば幸いです。」と述べられました。寄贈を受けた田中町長は「福祉向上につとめ、趣意に沿う

よう大切に使用させていただきます。」と感謝の意を述べ、ご芳志に対し敬意を表し感謝状を贈呈しました。

この福祉車両は「のぞみ号」と名付けられ、機能回復訓練の送迎など障害福祉向上のため利用されます。

日本顕彰会から

今トシさんが表彰状

喜良市下町の今トシさんは30年以上にわたり各地区の子供会・町子供会連合会の結成や県子供会連合会の専門員として、リーダー研修会などで活躍されています。

この業績が評価され、去る11月5日、東京・三田の笹川記念館で行われた、財団法人日本顕彰会（会長＝笹川良一）の平成4年度社会貢献者表彰式典で表彰されました。

「私」が優良賞

花田五郎さんが中野渡利秋青森県老人クラブ連合会長から表彰されました。

花田さんは青森県老人クラブ連合会主唱の「老人の主張」に応募され「私の生きがい」と題し、長い生活の中で体験したことを訴え、感銘を与えたことにより数多くの応募作品の中から優良賞に選ばれ今回の受賞となりました。

受賞された花田さんは「今回の受賞は、地元老人クラブの応援の賜物です。」と述べていました。



▲感謝状を贈呈される津島さん

▼寄贈されたリフト付自動車



花田五郎さんが中野渡利秋青森県老人クラブ連合会長から表彰されました。

花田さんは青森県老人クラブ連合会主唱の「老人の主張」に応募され「私の生きがい」と題し、長い生活の中で体験したことを訴え、感銘を与えたことにより数多くの応募作品の中から優良賞に選ばれ今回の受賞となりました。

受賞された花田さんは「今



優良賞を受賞した花田さん



社会貢献者表彰された今さん



プレゼントに大喜びの園児たち

このイベントを知らず乗り合わせたお客さんにもプレゼントが配られ、この和やかな雰囲気を感じていました。

夢満載 サンタ列車走る

子どもたちの夢を乗せ、まっ赤なサンタ列車が12月1日走りました。

今年5回目を迎えた「津軽鉄道サンタ列車」は、サンタ・フェステバル実行委員長(金木町長 田中勇治)、津軽鉄道社長(三和満)、サンタに扮した津軽鉄道職員らがテープカットした後、招待された金木幼稚園(園長 片岡八千雄)の園児34名と一般客を乗せ、津軽五所川原駅を10時10分出發しました。

車内では、園児たちの歌う「あわてんぼうのサンタクロース」の歌に合わせてサンタが登場すると、園児たちも大喜びでお菓子などのプレゼントをもらっていました。

また、園児たちは「サンタさんへのお願いカード」に、それぞれ自分のお願いを書いて、車内に設けられた手作りポストに投函し、「絶対お願いがかなえて下さい。」などと夢を膨らませていました。

この後、金木駅に着いた園児たちは来年のえどにちなみ青森県畜産試験場森田支場養鶏科を訪れ、ニワトリにエサをプレゼントし、一足早いクリスマスを楽しみました。

珍鳥「クロハゲワシ」

芦野児童動物園



県内初の「クロハゲワシ」

芦野児童動物園にニューフェイス「クロハゲワシ」が仲間入りしました。このクロハゲワシは今年4月に車力村牛潟のゴミ捨場で保護し、県の鳥獣保護センター

で飼育され、体力が回復しだい放すことになっていましたが遠くまで飛ぶのは無理ということで当町で引き取ったものです。特徴は、名前のとおりカラ

中国北西部に生息し、日本では冬期間まれに迷飛してくる程度で、県内で確認されたのは初めての珍しい鳥ということです。冬期間は園内の小屋で飼育されますが、来春には皆さんにお披露目できますので、ぜひ一見を。

スミミいな黒い羽毛でおおわれ、頭にはまさしく毛が無く愛敬のある顔をしています。しかし、一旦翼を広げると、2メートル以上にもなり、鋭い口ばしで骨付き肉の餌を噛み砕く姿にはどう猛さも伺えます。

勤労を感謝しプレゼント

金木幼稚園児



職員に花束と餅をプレゼントする園児たち

勤労感謝の日を前に、金木幼稚園(園長 片岡八千雄)のかわいい園児たち15人が20日、役場を訪れ元気よく「いつもお仕事ご苦労様です。これからも頑張ってください。」とあいさつし、花束ともちをプレゼントして勤労を感謝しました。

日頃、堅苦しい役場も、かわいい園児たちのプレゼントに和やかな雰囲気が漂いました。